

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	デザイン史	2	3・4	デザイン セラミック	選択	デザイン史 東京電機大学出版局

1. 学習の到達目標

造形は、時代・地域・文化により特定のスタイルを持っている。各時代や地域に現れた独自の文化を学ぶことによって、造形様式の中に表されている社会の思想・世界観や美意識、さらに当時の生産技術の特徴や造形素材に対する認識も理解できる。さらに、これからの時代のデザインのあり方を考え、造形活動に生かすことができようにする。

2. 学習の評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	諸国の文明の発達とデザイン史の展開をわが国のデザイン史の展開との関係に留意しながら理解し、その知識を身につけている。	歴史的事象から課題を見出し、デザインの成り立ちを歴史的な視野から多面的・多角的に考察し、現代の諸課題を歴史的な観点から追及し、自己の課題に役立てることができる。	デザイン史に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、広い視野に立って自己の属する国や地域で展開していった出来事を理解するとともに、自己の創作活動や技術の勉強に役立てることができる。
評価の方法	授業観察・定期考査	授業観察・実践演習・ワークシート	授業観察・学習への取り組み状況・実践演習

3. 教科からのメッセージ

造形物には作者の思想や感情が込められています。こうした造形の中にある人間の精神活動を文化と呼ぶならば、デザインの歴史は造形文化の歴史を中心とした営みだといえるでしょう。デザインの歴史を追っていくこと、ものに込められた感情を読み取る作業は、よりよい暮らしを求めてきた私たち人間の願いそのものです。

4. 年間指導計画

4月 5月 6月 7月	【デザイン史における近代デザインの位置づけ 地域と時代】 デザイン史について（序説） 「古 代」～デザインのはじまり～ ・原始のデザイン ・近代のデザインに至るまで 「近 代」～近代デザイン～ ・産業革命以降 ・アーツ・アンド・クラフツ運動 ・アール・ヌーヴォー ・ポスターの興隆 ・近代美術の革新
----------------------	--

	・ヨーロッパ各国のデザイン活動
9 月 10 月 11 月 12 月	・ドイツ工作連盟 ・バウハウス - ワイマール・バウハウス - デッサウ・バウハウス - バウハウスの終焉、ニューバウハウス ・アール・デコ ・アメリカの工業デザイン
12 月 1 月 2 月 3 月	「現代」 ・産業の復興と現代デザイン活動の始まり ・戦後日本のデザイン